


関係各位

**飯山市第五次総合計画
後期基本計画づくりに向けた
【まちづくり市民アンケート】
～高校生篇～**



**アンケート調査結果サマリー
(まとめ)**

調査概要

- **実施目的** 若い世代の定住を目標とした場合の施策の可能性、現状の意識ならびにニーズの把握
- **実施手法** 自記入式アンケートの配布
- **対象者** 飯山高校在学生
下高井農林高校在学生
- **回収方法** 学校による回収
- **サンプル回収数** 飯山高校463サンプル
注) うち、学年未回答2サンプル含む

下高井農林高校169サンプル
注) うち、学年未回答8サンプル含む

合計：632サンプル
(うち、学年未回答10サンプル)

アンケート調査結果サマリー①

三世代同居が半数で、飯山市在住者の8割は生まれたときから。
市外通学者が4割を占めるが、「住みよい／住みたい」は少数派。
新幹線利用率は高いが、市への波及効果は感じられていない。

学年・性別・居住状況

- ・3年生に比べて2年生がかなり少ない
- ・男性がやや少なめ
- ・三世代同居が約半数
- ・二世帯同居と合わせると96%
- ・飯山地区在住が3割近く
- ・市外在住が約4割
- ・生まれたからずっと飯山市が8割以上

市内在住者のイメージ

- ・「住みよい」と思う層は少数派
- ・他の地域と比較できる経験がないためか、「普通」が4割
- ・「住み続けたい」「移りたい」は同数
- ・「移りたい」理由は「仕事や雇用の環境」が半数近くで、「通勤・通学の環境」「冬期間の環境」が続く

市外在住者のイメージ

- ・「住みたい」と思う層はわずか1割
- ・自分が暮らすことがイメージしにくい
ためか、「どちらともいえない」が半数

将来像

- ・「自然豊かな緑と雪のまち」「観光・レジャーのまち」が多く、現在の市のイメージの延長線上
- ・一方、「癒し」「人情」「交流」と情緒的な要素も重視している
- ・「産業の盛んなまち」「教育・文化の香るまち」のイメージは薄い

新幹線駅開業と将来像

- ・新幹線駅開業で遠方への利便性は向上
- ・知名度アップや人口減少対策、経済の活性化などにはつながっていない印象

アンケート調査結果サマリー②

駅前や商店街の店を増やし、イベントなどで活性化を図る。
それを目当てに来たくなるような名物や目玉商品を開発。
市外から来る人の立場や目線から考えた施策を行うべき。

飯山駅から北陸新幹線を利用してもらうためのアイデア

- ・新幹線の本数を増やす
- ・新幹線を利用したツアーを用意する
- ・駅前の店を増やしたり、商店街の活性化する
- ・それを目当てに人が来るような名物や目玉商品を開発する
- ・新幹線の料金半額の日や年間パスポートなど、お得感のある料金設定を作る

新幹線の開通効果を市民に知ってもらうためのアイデア

- ・駅構内・駅前に飲食店や商業施設、宿泊施設を増やす
- ・飯山の環境、良さを活かしたツアーやイベントを企画する
- ・SNSの投稿や駅構内のメッセージボードの設置など、口コミを通じた広報を促進する
- ・公共交通や観光バスなどの充実

地元の商店（街）を活性化させるためのアイデア

- ・お祭りや歩行者天国、マルシェなどの集客につながるイベントの開催
- ・スマホアプリやカードによるポイント制度、値下げの日など、お買い得感を出す施策の導入
- ・それを目当てに来たくなるような名物や目玉商品の開発
- ・商店や商店街の美観を向上させる

意見や提案、要望

- ・市民の声をもっと聞いて、市政に活かして欲しい
- ・まちの活性化事業に学生が触れられる機会が少ないので、もっと関心喚起をすべき
- ・無理に都市化するのではなく、帰って来たときにホッとできる飯山の良さを残して欲しい
- ・市外から来る人が魅力を感じられるように、市内の目線や考え方だけでなく、市外の人の立場や目線から考えたほうが良い